

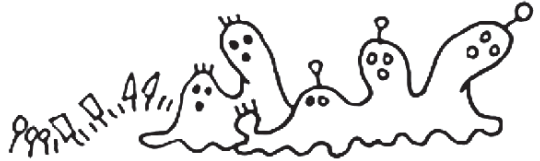
全国の対話と物議の土壌をかもすニュースをお届けします

# かもす通信

はたらく女性の全国センター（ACW2）



イラストレーション/ナガノハル



## もくじ

- 02 | 定期大会 アンケートより
- 04 | 原付免許を取得しました
- 06 | 2009年事務職をクビになったこと
- 09 | 主な活動報告
- 11 | ひとことメッセージ
- 15 | 編集後記

10月19日(土)



## 介護労働者・障がい者・高齢者が 新宿 14 時～デモを予定しています。

今年 4 月から訪問介護の基本報酬引き下げが大臣告知で実施されました。

そのことによって訪問介護事業所の倒産、廃業、営業譲渡が止まりません。

2040 年には団塊ジュニア世代も高齢者になります。現実に保険料も税金も支払ってきたのに、いざ困った時に介護保険が使えなくなる事態が現実になりました。

10 月のデモにぜひ皆さんも、誰もが当事者として一緒にでもしませんか？

---

# 定期大会 アンケートより

---

## 第1部 ともにケアする ケアとともに生きる 走らない選択もある社会

### 伊藤みどりさんの話を聞いて

- 介護保険制度の改悪については日々のニュースなどで見聞していたが、改めてまとまった話を聞くことができたのがよかった。現場の様子や当事者の声を一般の人たちに知ってもらい、自分の問題であると気づいてもらうことが大切だと思う。 (蜷川あぐり)
- 田舎に住んでいた親の介護は、親戚の助けで乗り切ることができました。今度、自分が介護を受ける立場が近づいたとき、伊藤さんたちの裁判を通して、実態の一端を知ることができました。そのことが入り口となり、具体的な手立てを探る大きな手助けとなりました。社会的にも、介護の問題、とりわけ訪問介護の問題を社会的に可視化されたこと、すごいと思います。そんな私は、今回の伊藤さんのお話を伺って、「ああ、この問題も新自由主義の一つだ」と気づきました。蟻の目と鳥の目で見ることの必要性、忘れていたことを思い出しました。ありがとうございました。 (すみっこ暮らし)

---

### グループワーク：伊藤さんの話を聴き、100年ビジョンを読んで

- 前半と後半のグループワークは、第1部のケアの話を他者と共有し、深めることができ、充実した時間だった。 (蜷川あぐり)
- 100年ビジョン、zoom参加者含めて参加型で読み進めるのは、チトきつかったように感じました。というのも、「自分の順番は?」「どこまで読むの?」などに気をとられ、内容が頭に残

らなかったのです。

前回、会場で回し読みしたときには、こういった違和感は感じませんでした。

運営方法で、ご苦労されたと思いますが、会場と zoom、全て同じでなくてもいいかも  
しれませんね (ごめんなさい。後知恵です) (すみっこ暮らし)

---

### ハイブリッド開催について

- 仕事で zoom を使用することが多いため、会場参加でグループワークができることは新鮮で楽しい時間だと感じた。 (蜷川あぐり)
- ハイブリッド開催、工夫の余地はあるにしても、今後とも続けていただきたいと思いま  
す。 (すみっこ暮らし)

---

### 大会に参加して、全体を通して感じたことや気がついたことなど何でも

- 日常の忙しさから離れて、仲間と語り合うのは癒しになると思った。 (蜷川あぐり)
- グループ分けでの討論時間、もう少し長くしてほしいです。  
初めての方との会話は、むづかしいから。 (すみっこ暮らし)



---

# 原付免許を取得しました

あっこ

原付の免許を取得した。

パスポート以外の顔写真付きの身分証明書が必要だなと思ったのと、前から「スーパーカブ」というバイクに乗って見たかったのもあり、教習所に行かなくても取得できる、原付だけの免許をとりあえず取得してみることにした。

学科試験を無事合格し、後日に原付講習を受講した。

初めて原付バイクに触れて、思ったより重たく感じた。アクセルをかけてみると、ブーンと音がだんだん大きくなる。

操作を誤ると、バイクだけ飛んでいってしまいそうで、途端にこわくなった。

講習にはわりと人が来ていて、こりゃあ、操作を気にしながら他の人とペース合わせて走るなんて、とても私には無理だなと感じた。

無理しない。操作に集中したい。

そう決めた私は思い切って、「私、操作をすぐつかめそうになく、他の人についていけないので、端っこで練習したいです」と、ダメでもともと講師の人に言ってみたら、「そうですか、じゃあ向こうで練習しましょう」と言ってくれた。別の講師の人がついてくれて、空いている場所で練習させてくれた。私は周りを気にせず、原付の操作を覚えることに集中でき、なんとか乗ることができた。乗れると楽しくて、もっと慣れてスイスイ乗れたらいいな、と前向きな気持ちになった。

原付講習の帰りに、私は、小学校とか中学校の授業で、周りとのペースを合わせないといけないと焦り、あたふたして失敗し、笑われ、恥ずかしくて、自分が嫌で嫌で仕方なかつ

たことを思い出した。

今日みたいに、「周りと同じように出来ないから、自分のペースでやりたい」と、自分の希望を伝えたり、「じゃあそうしよう」と受け止めてもらえたことなどあっただろうか？大抵は言わないで我慢したり、「なんで同じようにできないの？」と、面倒くさそうに跳ね除けられたりだった。

周りと同じペースに合わせることが大事なんじゃない。集中して運転を練習することのほうが大事だ。講習のときそう思えて良かった。

運転だけじゃない、他のことだってそうしかったんだ。

本来集中したいところよりも、周りのペースに合わせないと恥をかく、というところばかりが気になっていた幼い頃の自分。

その結果、どんどん自分が情けなく、嫌になった。学校に行くのも嫌で仕方なかった。きっと今でも、こういう子どもは沢山いるとおもう。

自分のペースで安心して集中できたら、できるようになるし、やる気も出てくるのに。受け止められることはそうそうない。

それでも。これからも、ダメでもともと、希望を伝え続けようと思う。



---

# 2008年に事務職をくびになったこと

まこと

あまり求人票をよく見てなかったし面接で質問しなかったのもよくなかったです。三宮のハローワークにいたら、中年の女性が親切に、このビルの上にヤングハローワークがあるよと教えてくださいました。その女性が伝えないと隠れていてわからないところでした。税金を使って新しい場所を作りひっそりと運営する手口でしょうか。10人ぐらいの職員がずらりと並んで座っていたとおもいます。そこへ行くと中年男性の職員が、ある会社の求人票を渡してきました。

おそらく賃金が低すぎて誰もこないところとおもいます。それで私に回してきたのでしょう。当時私は30歳で実家ぐらしで気楽そうとみえたのかもしれないです。こちらとしたら、親の虐待から逃げるために失敗して苦しんでいました。

試用期間が3ヶ月でその間の賃金は求人票に書いてあるのより安いというようなことを書いていたとおもいます。保存しておくべきでした。

面接では、2回呼ばれて、2回目に社長が明るい人が良いから、この会社にそういう人が必要、仕事は、簡単だから！とっていました。こちらはその前にいた工場の仕事の休みがなくて疲れ切っていましたので、あまり明るい気持ちではなかったです。(求人票に資格、明るい人とは書いてなかったです。2024年現在、求人にも明るく健康なやる気のある人ということをかくの望ましくないそうです。人そのものを書くのではなくて少し書き方を変えたら良いらしいですが、そのワードが入ってる段階でおかしいし、避けたい求人です。最近では掃除の仕事、ゆうちょ銀行契約社員でそう書いてるのを見ました。喫茶店や飲食店では¥1001の最低賃金なのに1000円で募集しているところもあります。)明るい人というワードがでた面接の時、気がついて逃げるべきでした。あとの祭りです。

求人票には9時からとあるのに8:40までにこいという。これも求人票とは違う労働時間を書いているし労基法15条違反と、早朝残業でした。そのような職場は多いです。そして賃金は13万円ほどと記載あったと思います。雇用条件通知書をもらうように伝えるべきでした。

そして、最初の給料日の明細を見て驚きました。手取り 11 万円でした。それも不審でした。会社の人や暗い雰囲気なのは低賃金のせいだろう…。簡単な仕事といえどもまちがえたらだめだし、社労士とか簿記とかのない、なんの資格もない低スペックな自分ですが大人がフルタイムで出勤してこんな賃金、夏休みの学生バイトくらいですか。

おそらく簡単な仕事だからとおもいますが、家賃や生活費を払う人向けの仕事ではないです。3ヶ月目に、社長室にて、社長が辞めるか？ときくのでやめますといいました。社長はその時怒りました。自分がやめるかと聞いたのに。理由は暗いということでした。やる気ないからやめろと同じです。他の社員も、あんたのことはこれ以上成長しないだろうといっていたと、分断し、こちらを見下す発言をしてきました。社長は会社に弁護士がいる！と凄んできました。訴えるなということらしい。だいたい怪しい会社は最後にそういう。前にいた献血ルームは弁護士にいうな、といってきました。パワハラしてる自覚あるんだ。弁護士いるのに無茶苦茶なことするとは、会社が雇ってるのはポンコツ弁護士です。社長にしたら弁護士は自分の言う通りに何でもしてくれる魔法使いくらいにおもってるのでしょうか。自分の悪さを隠したり誤魔化したりするためのもの。弁護士のいうようなりーガルマインドを身につけることはないのだろう。明るい暗いは電球にいうもので、人に言うのはおかしい。人に暗いねというひとに明るい人はいない。と五味太郎の本の紹介をSNSで見て、腑に落ちました。いじめっこを陽キャというなという先生のポストもみました。人をいじめる人は明るい人ではないからということですよ。

社長は事務職は簡単な仕事といって、見下しており、女には主に明るく優しいケア役割を期待していたのではないかと。そうなるのが男の言う女のこちらへの成長か？気持ち悪い。お前らがアップデートしろ。介護する女を責めているのではなくて、男らの女への妙な期待のそうあるべきということが気持ち悪いです。男にとっては見て言葉をかわして心地よい女、それを評価して賃金を上乘せするわけではなくて、心遣いという名の無償のケアを求めている。なんのために？きもい。

ケア役割は女に標準装備されているはずという偏見、たとえ求人票に周りを明るくできるケアする女性希望と書くことができ、だからやっていますというのは味気ない、本心と勘違いさせる演技が必要なものかもしれないです。そういうのは、こちらにしたらお断り

です。暗黙の了解でケア役割させるのはおかしいです。そしてその要求はエスカレートするはずで。

最近、赤川次郎原作「女社長に乾杯！」を映画化したものをみて、中年女性が上司にオーバーにお世辞を言いほめそやすのを見ました。それが当たり前と高齢の社長は思い込んでいたのでは。賃金が安くせにです。気持ち悪いです。だいたい社長がケチで社員の給与が安いから社内が暗いのを、なんで女性の事務員1人が明るくできると思うのだろうか。ニュース番組の視聴率が低いから若い女のキャスターにミニスカートを履かせて、なお視聴率が悪いから、その女のキャスターは降板したことがあった。番組の内容の質を上げることはせずに女に期待し責任をおっかぶせる無茶苦茶さ。

女に無関係なことに責任はないし期待すべきではない。さらに気持ち悪いことに世の中には、職場の若い女性が父のように慕ってくれるものと思いついでいる中年男もいるようです。こちらへの育児して生活費全部出すとかそんなのしてないのになんでそんな妄想めいた要求を抱くのか？

退職後2年経って2010年に労働局であっせんを行いました。その時初めて時給¥800だったと判明しました。弁護士とやってきた社長は、おそらく早朝残業代の2万円ほどを支払いました。ケチです。2022年の年末、旧ツイッターでなにげなく会社の名前を検索したら、ずいぶん前に社長が逮捕されているニュースがでてきました。2009年に当時の社長の息子が違法行為をして2011年に逮捕されていたのです。逮捕時には社長になっていました。事件や会社名についてはウィキペディアにも載っています。長年気が付きませんでした。その職場を最後に、ショックで今までひきこもっていましたが、ばからしくなりました。

最賃の職場はやばいところが多い気がします。既婚女性を期待して募集してるのでしょうけど、それ自体おかしいです。気軽にひきこもりに簡単な安いしごとならばできるのではとってくるひとがよくいますが、誰でもできる仕事はハードで過酷なものですよね？作業所もあまりよくないです。

---

## 主な活動報告

1月10日(水) 会計作業

---

1月14日(日) 第2回 対話の土壌をかもす講座 4人

---

1月25日(木) 読書会 『コモンの「自治」論』 第3章 7人

---

2月1日(木) 訪問介護の報酬引き下げ撤回 緊急記者会見 伊藤も発言

---

2月2日(金) ホームヘルパー国賠訴訟 高裁判決 棄却一部事実を認める高裁裁判報告  
集会

---

国会前 報酬引き下げを撤回を求める緊急集会

---

2月8日(木) ケア全国会議

---

2月11日(日) 第3回 対話の土壌をかもす講座 5人

---

2月13日(火) ちまちま手仕事の会 5人

---

2月16日(金) ふえみゼミ「ケアを社会の柱に」 労働とフェミニズムの狭間で ～ホーム  
ヘルパー国賠訴訟で 何を訴えたかったのか～ 伊藤講師

---

2月23日(金) 読書会 『コモンの「自治」論』 第4章 7人

---

2月25日(日) 性と私を語る会

---

2月27日(火) 荒川区労協 春闘講座 介護ヘルパー不足と国の責任&ヘルパーの労働環  
境 伊藤講師

---

3月7日(木) 映画を観る会 ミーティング 3人 Zoom

---

3月8日(金) 訪問介護報酬聞き下げ撤回 緊急院内集会

---

3月10日(日) 女性ユニオン東京 定期大会参加

---

3月19日(火) ちまちま手仕事の会 5人

---

3月20日(水) 読書会 『コモンの「自治」論』 第5章 7人

---

3月22日(金) ケア全国会議

---

3月24日(日) 第4回 対話の土壌をかもす講座 5人

---

4月12日(金) ちまちま手仕事の会 5人

---

4月20日(土) 第1回 相談員トレーニング受講生 12名

---

4月21日(日) 第4回 対話の土壌をかもす講座 4人

---

4月27日(土)	介護問題 伊藤講師
5月3日(金)	ホットラインチーム振り返り
5月4日(土)	映画を観る会 ミーティング 2人 錦糸町公園
5月8日(水)	会計
5月8日(木)	ちまちま手芸の会 引っ越し荷物仕分け手伝い
5月18日(土)	第2回 相談員トレーニング 受講生 11人
5月19日(日)	第18回 ACW2定期大会 会場8人 Zoom8人
5月24日(金)	事務所引っ越し準備作業 4人
5月28日(火)	読書会『コモンの「自治」論』第6章 6人
5月31日(金)	事務所 大久保へ引っ越し作業 4人
6月1日(土)	旧事務所 古紙廃品引取り業者へ受け渡しと清掃
6月4日(火)	新事務所 電話回線、ガス・水道・電気開通作業など
6月5日(水)	映画を観る会 「ブレインウォッシュ」観賞 2人 横浜シネマリン
6月7日(金)	ちまちま手仕事の会 5人
6月	かもす通信60号 印刷作業
6月9日(日)	性と私を語る会
6月9日(日)	映画を観る会 「ブレインウォッシュ」観賞 1人 横浜シネマリン
6月12日(水)、25日(火)	かもす通信60号 発送作業
6月24日(月)	ケア全国会議
6月26日(水)	映画を観る会 「ブレインウォッシュ」感想シェア 3人 Zoom
6月27日(木)	読書会 『コモンの「自治」論』第7章 前半6人
7月19日(金)	桜美林大学 ケアを社会の柱に～ホームヘルパー国賠訴訟で何を訴えたかったのか～ 伊藤講師
7月20日(土)	第3回 相談員トレーニング 受講生9人
7月25日(木)	読書会 『コモンの「自治」論』第7章 後半&あとがき 6人
毎月5日、10日、15日、20日、25日、30日	はたらく女性のホットライン 147件受

\*伊藤の講師のところは会員のいる関係者のところのみ限定した

\*全国ケア会議は、ACW2も団体賛同の毎年実施の厚生労働省交渉の介護労働者の会議

## ひとことメッセージ

去年の暑さにココロが折れて、今年は、赤字覚悟で仕事を減らしています。

生活のサイズを、MからSSSくらいまで、小さくしてますが、これ以上が難しい。

どんなに気をつけても、醤油、味噌はなくなるし、スニーカーの底は減るし。

人にいうと、「働け〜」しか言ってこないの。

履物とか、自作出来ないかな。 (うま)

都知事選のとき、少しだけですがひとり街宣しました。こういう連帯に参加できたのは、私にとって大きな事です。 (ケロ・ミー)

「〜〜をやってみたい」と周りに言ったとき、気持ちよく応援してくれる人は案外いないと感じる。「危ないからやめとけ」という気持ちもあるだろうが、この人は、私のやる気を削ぎたいのかな?とか、傷付けたいのかな?とか感じる時もある。そういう気持ちから、自分のことをなんでもやたらに人に言わなくなってきたけど、自分の決断に人から背中を押して欲しいときってどうしてもある… (あっこ)

### ■ 移転先の事務所でホットライン無事開始

みなさんこんにちは。

月に一度ほどホットラインに出ているNともうします。労働法の詳しい話になると胸がドキドキしてしまいますが、懸命に話を聴いています。

なんでもネット+テキスト入力ですりとりする昨今、電話でだれかの生の声をきけるホットラインは、私にとって貴重な場です。

さて。

最近になって、ACW2の事務所が移転しました。

御徒町(おかちまち)から、北新宿(最寄駅は「大久保」)へと移ったわけですが、大久保の街も御徒町とは違う個性があって、面白いです。アジアンエスニックな街で、

飲食店もその他のお店もアジア圏の言葉で看板が出ています。

全くの商業地ではなく、住宅街でもあるので、Tシャツ短パンにサンダル履きである人がいます。日本語学校もいくつかあるようで、いろいろなグラデーションの肌、顔つきの人たちと行き交います。スパイスの香りも漂ってます。お買い得商品の多い八百屋さんも。

引越まもないのに、電話線やインターネットもちゃんと使えるようになっていて、ホットラインも無事にやれました。

引越作業をされたみなさま、お疲れさまでした。ボチボチとつながって、こうやって活動が続いたことに感動しています。

夏の東京から、お伝えしました。 (N)

-----

春からときどき健康麻雀の教室に行っています。お弁当を持っていき、朝から夕方まで麻雀する日もあります。私の行っている教室は高齢の女性が多く、一緒にお弁当を食べながら、話をしたりします。ある人は、「麻雀に行くって言うと、夫に『麻雀なんかやめろ！』と言われたり、『おれの昼飯作っていけ』と言われたりして、時々出かけづらい」という話をしてくれました。そんな声に負けず、麻雀また一緒にやりましょうね!!! (あっこ)

-----

①『ハラスメントされ、うつを病んでいる。今は傷病手当金をもらいながら療養してるけど、私の肩にかかっていた家族の生活（やっと中学生になった2人の子どもがいる）、傷病手当金だけでは家賃と食費だけで精一杯。そこに住民税とか社会保険料とか（去年の収入で計算された金額）の支払いを要請される。国保切り替えとか年金納付猶予とか、いろいろ負担が軽くなる方法を模索したけど、結局、今の状態が、一番負担が少ないとわかった。他の支援制度も当たったけど、『働けるという前提がないと使えない』とか言われて、利用できない。働くことができない今こそ、支援が欲しいのに。

前年の収入で社会保険料が決まるということは理解できないでもないけど、こんな状況になった時は支払いを猶予するとか、免除するとか（妊娠出産の休業の時のように）、そういうことを国には考えてもらえないものか。』…という相談を受けると、まずは一緒になって泣くしかない。住民税とかは支払い方法をいろいろ図ってくれるけど、健康保険なんかは、徴収に容赦はない。

②労災休業補償。支給がないから労働基準監督署に問い合わせてみたら、「その負傷にしては受給期間が長くなっているの、今、医師の意見を聞いている。」（労基署）と回答された。でも、毎月、滞ることなく医師の診察を受けて申請書を出している。なのに、何で？と、労基署に聞いた日の付けで、医師の方に『ご意見を聞きたいと、労基署から通知が来ましたー。』（医師）症状固定となったのはそれから半年後。その時に、ようやく、そこまでの休業補償金が振り込まれた。

…いや、毎月の支給を基礎に生活してるんだけど。支給がなくて娘は学校を辞めざるを得なくなったし、光熱水道費も払えなくなった。家賃は、言うまでもない。ちゃんと労災認定されたことで、医師の証明ももらっているのに、この仕打ち、何？…というような事例が、そこかしこから入る。……。

③外国人派遣社員。派遣先で、派遣先正社員から3年にわたってハラスメントを受け、適応障害を発症した。この前、派遣先とオンラインで面談して、ハラスメントされた状況を派遣先コンプライアンス担当者らに訴えた。同席した会社側女性弁護士（派遣社員と同じ国の外国人）が、「画面の向こうで泣いていた。」と、面談に同席した人から、後で聞いた。本人は、1時間程度の面談終了後、「吐く。」と言ったそうだ。派遣先は当初、「ご本人とのみ直接面談したい。」と要求していたけど、支援者（通訳兼ねる）付き添いの上でのオンライン面談にしたいとがんばってよかった。

④「この前、派遣先社員に大きなカーゴ台車をぶつけられたの。わざとだと思う。ぶつけられたの2回目だったから。他の社員もぶつけられて、その人、一日中泣きな

がら仕事してた。」

「そういう時はすぐに病院へ行って、診てもらって診断書をもって。1週間程度の打撲でも、『第三者行為』っていう、立派な労災だから。」

「え？そうなの？知らなかった。」

⑤そろそろ産休に入るかというところで雇用契約期間満了時期が来た派遣社員に、「育児休業が終了するまでは雇用は継続・更新しますよ。」と言った会社。でも、「籍は置いておく。雇用契約締結はしない。従前の労働条件で雇用契約書を出すとかはしない。うそを書くことになるから。」と、同じ口で続ける。雇用継続・更新、籍を置くことが雇用契約を結ぶということなんだよ？労働条件はともかく、雇用契約書を出さないって、労基法違反になっちゃうよ？妊娠出産上、いろいろな手続きに雇用契約書は必要なんだよ。新たな契約書に、雇用契約満了時の労働条件を書いたって、“うそ”にはならないんだよ。疑問だったら労基署に確認しておいでと会社に言ったら、「社内で協議します。労働局などには行かなくとも、円満に解決したいです。」と会社。今さら社内で協議することか？私は、日々、疲れる。

⑥日々、特段の楽しみがない。ストレス解消になっていた夜更けのおやつは、病気予防対策のため中止を余儀なくされて、もう1年（でも、時々禁を破っちゃうけど）。そんな中で、今、ちょっとフェイバリットになっているのが、ユーチューブの『ミニ整体～目の下をつまむ』と『マリアージュ ダムール』（ショパンの春のワルツとして知られている）を聴くこと。この整体、やってみたら、目の下のたるみがちょっと減ったような！音楽の方は、耳に入った瞬間に、いろいろな景色、風景、追憶が広がって、心に沁みて来た。懐かしい人たちの笑顔が走馬灯みたいに向けられているようで。

今は他にあまり楽しみってないけど、もうひとつ、何か始めたいなという気になります。

（ローズマリー岡本）

谷口英喜さんという お医者さんの、熱中症と水分補給の本を、しっかりしっかり熟読したくせに、ついに熱中症になりました。

個人差の問題もあると思うけど、「まずいな」と思った時、経口補水液がとてもよく効きました。

今年はあまり、経口補水液のことが、世の中にアナウンスされていない気がします。効く人もいると思うので、来年の夏はお試してください。一本210円くらいかな。(うま)

-----  
メッセージ募集に応えてくださったみなさん、ありがとうございました。

あなたのひとことも載せてみませんか。

1つといわず、いくつでも。

ふと思いついた時に、右下の宛先へメールにてお送りください。

お待ちしております。

宛先▶[tsushin@acw2.org](mailto:tsushin@acw2.org)

## 編集後記

■私は幼い頃『はだしのゲン』を読み、米国の原爆投下と、日本人が強い立場から弱い方へ差別・暴力をふるったことが強く残り、当時、平和憲法のもと人権があることに安堵しました。ところが今、権力から個人を守るための憲法を、権力が個人を縛るものに変えようとする動きがあります。議員の任期延長を可能にする緊急事態条項と自衛隊の明記です。発議され国民投票になったら改憲されるかも。差別や暴力がさらに許容されていくのこわい。止めたい。(さ)

■猛暑の中で私たちは最終人類になるかもと思っています。いつ死んでもおかしくない。国や政治家や誰かの責任にしている猶予もないと感じています。改めて生きる意味、自分のできる事、自分で変えられること。小さな事でもできることをしたいと強く思います。その為には今を楽しみながら行動すること。時々押し活に全力をかけてエネルギーチャージ(み)

■今号の「かもす通信」から「野球部のマネージャー」という言葉が削除されました。女性が職場で軽んじられていることへの例えとして使われている点に、通信を編集する中で、ちょっと気になるという声が出たため、そのことを執筆者に伝えました。判断は執筆者に任せ、削除で落着。ほっとした一方で、甲子園のベンチ入りできるようになったとて、女子マネージャーの地位は本当に上がったかどうかと、思いを馳せることになりました。(な)

■菜園の里芋も茄子もピーマンもトマトも紫蘇っ葉もゴーヤも、このお天気にパリパリに枯れた…いや、焼けてしまった。小さな窓の、日が差し込まないように造る砂漠の住居の合理性を、身をもって経験しているこの夏。自動車製造業の不認証事件の影響か、派遣社員が10人20人とまとめて切られている現状、「日本人派遣も切られるのなら。」と納得点をもって来る外国人相談者。頭もPCも焼けてます。どっちもスノーパックで冷やしつつ。でも食欲は衰えず。(口)

はたらく女性の全国ホットライン 0120-787-956

毎月0と5のつく日 5・10・15・20・25・30日

平日 | 18:00~21:00 土日祝 | 14:00~17:00

会員のあなたもぜひご利用ください。毎月5日はセクハラ集中相談日

住所 | 〒169-0074 東京都新宿区北新宿2-11-16 千葉グリーンハウス201号室

TEL | 03-6803-0796 FAX | 03-6803-0726 e-mail | office@acw2.org

HP | <http://www.acw2.org> X | <https://x.com/acw2org>

正会員資格 | 女性であること(性自認が女性であることを含む)

正会員年会費 | 1口3,000円 オプション:5,000円 または 10,000円

生活困窮者2,000円

通信/サポート会員 | 1口3,000円(何口でも可)(性別にかかわらず誰でも歓迎)

郵便振込 | 00130-1-669637

銀行口座 | 三井住友銀行 渋谷支店 普通 8658522



感想など  
会員のおたよりを  
お待ちしております

この気持ちを伝えたい、このテーマで書いてみたいなど、思い立ったらぜひ下記メールアドレス宛にご連絡いただけると嬉しいです。

※編集メンバーも募集中。ご連絡お待ちしております →→→ [tsushin@acw2.org](mailto:tsushin@acw2.org)

2024年8月発行 第61号/編集・発行 はたらく女性の全国センターACW2

ホームページ、ツイッター、会員メーリングリストで毎日情報更新中